

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.11.5 No. 245 連絡先 FAX 042-555-1911



## オスプレイ 岩国基地から横田基地に来るだけでなく富士で山岳訓練

10月9日17時14分、横田基地にMV22オスプレイ2機(T-02、T-44)が着陸しました。この2機が、富士山を背に飛行する写真とともに「9日、山岳地帯で低空飛行訓練を行った」と米海兵隊HPに掲載されていたのです。「山岳飛行」とは、有視界飛行で山岳に沿った飛行をすることらしい。MVオスプレイの環境レビューで、低空飛行ルートが示されましたが、これって、そんな訓練をしている



のではないのでしょうか。岩国から横田へのルートを政府は提供を。オスプレイと乗組員は沖縄の第3海兵遠征軍、第1海兵航空団、第36海兵航空群、第262海兵中型ティルトローター隊。

## 「オスプレイ」鉱物吸い墜落米誌指摘 横田配備機も 「赤旗」10月23日付より

米航空専門誌『アビエーション・ウィーク』電子版は10月19日付で、今年5月にハワイで起きた海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイの墜落事故に関し、巻き上げた砂に含まれていたカルシウムやマグネシウムなど複数の鉱物がエンジンの燃焼室で溶けてタービン翼に固着し、エンジンが出力を失ったと分析した米海軍航空システム司令部の今年9月の報告書の中身を伝えました。(写真は砂を巻き上げて着陸を試みるMV22オスプレイ(米海兵隊ウェブサイトから))



同誌はまた、アフガニスタンで2010年4月に発生したCV22オスプレイの墜落事故についても、鉱物によるエンジンの出力喪失が原因だった可能性があるとの、当時の事故調査官のコメントを紹介しています。日米両政府はCV22を米空軍横田基地に配備する計画です。(中略)

同誌は、オスプレイは他の回転翼機のように出力低下しても安全に着陸できる自動回転機能を有していないので、墜落を避けられないと指摘。同機の構造的欠陥に言及しています。

## 横田でサムライ即応監査(SRI)夜も 11月1日(日)から11月10日(火)

防衛省北関東防衛局横田防衛事務所からの情報提供です。30日変更があり、その内容です。

- ・サムライ即応監査(SRI)2015年11月1日(日)から11月10日(火)。(7日、8日も実施)
- ・演習に伴う夜間の航空機の運用を予定。・11月4日(水)の午前、第2ゲートを一時的に閉鎖する予定。・11月5日(木)の午後、PASを使用する予定。・演習等の予定は、変更もあり。

参考 SRI: Samurai Readiness Inspection (サムライ即応監査)はOREを実施し、監査するもの。ORE: Operational Readiness Exercise (運用即応演習)は、仮想戦闘環境における基地の機能テスト。テロ攻撃や航空機または地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応体制をとることを訓練するもの。PAS: 大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行う。

## イギリス空軍 (RAF) のエアバスA400M 横田基地に飛来

(No. 245 の裏面)

イギリス空軍 (RAF) のエアバス A400M が 10 月 25 日 16 時 03 分、横田基地に着陸しました(右写真)。



A400M は、2015 年 5 月 9 日にトルコ空軍に引き渡される機体が、離陸して数分後にスペインのセビリア近郊の畑に墜落しました。報道によれば、乗員は技術的な問題を報告してから SOS を発信し、4 機のエンジン

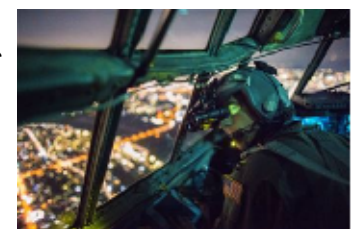
を積んだ機体が墜落。ここまでわずか数分の出来事だったといます。乗員は計 6 人で、4 人が死亡し、2 人が重傷を負いました。事故原因の調査と対策がとられてきたと、エアバス DS は 6 月 19 日に飛行制限を解除して引き渡しを再開すると発表しています。横田に何の用でしょう。

### 横田のUH-1Nヘリ、C-130、C-12も富士で訓練

横田基地の第 459 空輸飛行中隊の UH-1N パイロットの 2 人が 10 月 13 日、キャンプ富士上空を操作している、と米軍横田基地のホームページに写真とともに掲載されていました。(右写真)



第 36 飛行中隊の C130H も、10 月 14 日、日本の山岳を飛行しています。伊豆半島上空も飛行しています。関東平野上空で夜間、視覚確認を行っています(右写真)。荷積責任者は、投下地域を調査しています。夜間用見張服使用しているときはすべて、模擬投下物や、数回の着陸、離陸を実践しています。



第 459 空輸飛行中隊の C-12 も、10 月 13 日、訓練任務中、富士山近くを飛んでいます(右写真)。第 459 中隊は、インド-アジア太平洋地域の前進基地を維持するため C-12 を利用しています。そして、合衆国の国家安全保障の利益にとって不可欠な旅行では、他の優先的な乗客及び荷物と同様、著名な来客に対して支援提供するため利用しています。



### 横田の飛行士 戦闘武器訓練・維持コースに参加

10 月 8 日、米軍横田基地。「飛行士らは、自己防衛から同僚飛行士の射程に沿うため欠かせない技術を習得するため、戦闘武器訓練・維持コースに参加している。飛行士らは、合格するため最少の資格に合格しなければならない。飛行士らは、安全規則、手続き及び多種の武器の特性、弾薬のタイプ等のすべての知識を証明しなければならない」と米軍横田基地のホームページに掲載されていました。



期間中、M-4 カービン銃を発射する飛行士。(右上写真)

薬きょうが、発射領域で充満している(右)。飛行士らは、M-4 カービン銃の資格取得試験を行っているとき、5.56 ミリの弾を使用する。



薬きょうが国道上に散乱した事故が 9 月にありました。射撃訓練が行われているのですね。

※お詫び…前号 (No. 244) 2 面に「CV-22 横田配備に関する環境レビュー」簡単な概要、という見出しの記事を書きましたが、記事の 1 番目と 2 番目の前半の内容は、環境レビューに書かれていないものでした。これは前段で、「横田基地はこうなります」と書くべきものでした。